

令和 年 月 日

上田市教育委員会
上田市教育長 峯村 秀則 様

上田市学校給食運営審議会
会長 廣川 高

令和5年4月1日以降適用分の学校給食費について（答申）（案）

令和4年10月28日に貴職から諮問を受けた、令和5年4月1日以降適用分の学校給食費について、本審議会は慎重な検討を重ね審議した結果、下記のとおり答申します。

記

学校給食は、成長期にある児童・生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた給食を提供することにより、健康の増進、体力の増強を図るとともに、食習慣と食に関する正しい知識を身に着けることができる。

また、地場産物や郷土料理を通じ、地域の文化・伝統に対する理解や関心を深めるなど、高い教育効果も同時に期待できる。

物価高騰が続く中、学校給食摂取基準を満たし、安心・安全で多様な食材を適切に組み合わせ、立案された献立を調理し、児童・生徒が成長期に必要な栄養素を確保するための質や量を維持する必要がある。

本審議会は、令和5年4月1日以降の学校給食費の保護者負担額を審議するものではなく、適正な給食費の額を審議するものである。

このことにより、令和5年4月1日以降の給食費は、本審議会で自由に活発な議論を尽くした結果、一食当たりの単価を別紙のとおり改定することが妥当であると答申する。

1 答申の考え方

(1) 令和5年4月1日以降適用分の学校給食費について

現行の学校給食費は平成27年4月に改定されたもので、調理現場では、公益財団法人 長野県学校給食会が価格の決定を行う主食（ごはん、パン、ソフト麺）や長野県教育委員会が所管する牛乳価格の上昇に加え、主菜、副菜、汁物などに係る食材費の物価上昇の影響を受けているが、食材やメニューを工夫し給食が提供されている。

物価高騰が続く中、学校給食摂取基準を満たし、安心・安全で多様な食材を適切に組み合わせで立案された献立を調理し、児童・生徒が成長期に必要な栄養素を確保するための質や量を維持できる学校給食を提供するためには、現行の給食費1食当たり24円引き上げることがやむを得ない。

(2) 市内の同一単価

市内の学校給食センター・自校給食校から提供する給食の質に差がないことから、小中学校に提供される施設により違いのあった現行の給食費を市内同一単価とすることが妥当である。

(3) 丸子地域の中学校における給食費の増加分について

丸子学校給食センターでは、小学校と中学校の献立は同一メニューである中、中学生の成長期に必要な鉄分やカルシウムの摂取が不足がちとなるため、月に数回、乳製品等を1品追加し生徒の成長に必要な栄養素をバランスよく摂取できるようにする必要があり、現行の給食費1食当たり30円引き上げることがやむを得ない。

(4) 真田地域の長小、傍陽小、本原小、菅平中における増加分について

児童生徒数が減少傾向であるの中で、真田地域の自校給食校では、食材の仕入れ業者が限定され、購入量も少ないことから大量に発注する学校給食センターの行う発注と比べ、食材購入にかかるコストが割高となってしまうことから、長小、傍陽小、本原小の現行の給食費1食当たり34円、菅平中の現行の給食費1食当たり32円引き上げることがやむを得ない。

学校給食運営審議会での審議を行う中で、次の意見が出された。

2 意見

- (1) 国・県からの学校給食費に対する支援策があれば、積極的な活用を図ること。
- (2) 物価高騰が続いているが、質や量、栄養バランスを確保した学校給食の提供に努めること。
- (3) 上田市の学校給食が食の安全を代表する「シンボリック的存在」になるよう努め、広報うえだや市のホームページを通じて上田市の食育を掲載するなど、上田市独自の良さを情報発信していくこと。

3 令和5年4月1日以降適用分の学校給食費

改定額

製品（牛乳・主食）単価上昇分 12円 + 物価動向分 12円 = 24円

小学校

施設名（受配校）	現在の給食費		R5年4月以降の給食費		増加額
	低学年	高学年	低学年	高学年	
第二学校給食センター区域	263	283	287	307	24
丸子学校給食センター区域	263	283	287	307	24
川辺、東塩田、菅平、武石小学校	263	283	287	307	24
長、傍陽、本原小学校	253	273	287	307	34

中学校

施設名（受配校）	現在の給食費	R5年4月以降の給食費	増加額
第一学校給食センター区域	322	346	24
丸子学校給食センター区域	316	346	30
菅平中学校	314	346	32
真田中学校	322	346	24

改定額の積算

製品単価（牛乳・主食に係る単価）の比較

種類	H27	R4	差額（平均）	
牛乳（200ml）	55.0	61.0	6.0円	
主食	パン 70g	47.4	54.5	7.1
	ソフト麺 80g	44.9	51.4	6.4
	米飯 100g	58.4	63.1	4.7
合計（牛乳＋主食差額）		12円		

物価動向（消費者物価指数（食料） R4年9月時の前年同月比を適用）

給食費単価	上昇率 (4.2%)	差額（平均）	
小学校	263	274.0	11.0
	283	294.9	11.9
中学校	322	335.5	13.5
		12円	

審 議 の 経 過

本審議会は、上田市附属機関に関する条例の規定に基づき、令和4年10月28日に設置された。第1回目に教育長から令和5年4月1日以降適用の学校給食費についての諮問があり、併せて、学校給食費の概要の説明があった。

第2回目、事務局より改定案が示され、提示された資料をもとに協議を重ね、第3回目で_____。

回	開催日	内 容
第1回	令和4年10月28日	1 審議会委員へ委嘱状交付 2 審議会設置根拠、任務について 3 諮問 4 諮問事項及び学校給食費の概要説明 5 諮問事項及び概要説明に係る意見・質問
第2回	令和4年12月2日	1 諮問事項に係る意見・質問に対する回答について 2 学校給食費の改定（案）について 3 改定（案）に係る意見・質問
第3回	令和4年12月23日	1 改定（案）に係る意見・質問に対する回答について 2 学校給食費の改定（案）について

上田市学校給食運営審議会委員名簿（委員は五十音順・敬称略）

会 長	廣 川 高	副会長	甘 利 尚 之
委 員	天 野 みちる	委 員	王 鷲 哲 哉
委 員	小 林 勝 弘	委 員	坂 口 卓
委 員	城 下 敦 子	委 員	城 田 真 裕
委 員	鉄 矢 絵 美	委 員	八 巻 恵 子